高校生の進路意思決定の追跡調査 - 進学者の事前期待と満足 -

> 齊藤貴浩 大学評価・学位授与機構 E-mail:tksaito@niad.ac.jp

背景

- 高校生は何を期待して大学等に進学するのか?
- 大学等進学者の期待は満たされているのか?
- どのような要因が満足に影響を与えているのか?

大学教育の改善

先行研究

- 高校生は何を期待して大学等に進学するのか? 進学動機や考慮条件に関する研究(例えば,淵上(1984), 八木·齊藤·牟田(2000),吉中(1994)など)
- 大学等進学者の期待は満たされているのか?
- どのような要因が満足に影響を与えているのか? 大学における一連の授業評価 学生の満足度評価

学生の満足とは?

- 顧客満足: 商品やサービスの購入が、顧客の期待または理想を 基準として認知的かつ情動的にそれを満たすあるいは 超える程度を表す概念(Oliver 1997)
- Noel-Levitz "Student Satisfaction Inventory" (アメリカの調査会社による, 有名な(学生による)大学評価) expectation (importance) - satisfaction = performance gap
- 学生による授業評価・学生の満足度

(問題点) 大学の場合、

■的

- 高等教育進学者の期待は満たされて いるのかを明らかにする
 - 「入学前の進学先への期待」と 「入学後の満足」の比較検討
- どのような要因が期待と満足の差異に 影響を与えているのかを明らかにする (進学先の学校が第1志望校か否か等)

方法

(4) 高校生の進路運択時の調査 調査対象 : S県立高校の3年生379名(男性188・女性186・不明5) 調査時期 : 2001年11月のLHRの時間

調査方法 質問紙を配布回収

(2) <mark>卒業後の追跡調査</mark> 調査対象 : 同上

同上 2002年8月 調査時期 調査方法

: 郵送法 : 176名(男性70名,女性104名,不明2名) 回収数

有効回答数 高等教育進学者で、両方の調査に回答し、かつ対応を取ることが

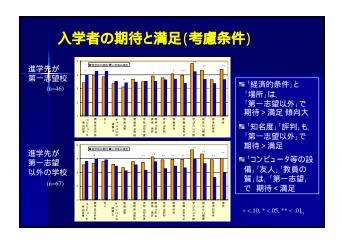
可能な回答者 114名(男性40名,女性74名)













まとめ(1)

- 進学動機)

 進路選択時には、学びたい分野、興味のある分野、就きたい職業などを期待して進学先を選択。

 しかし、期待ほどには満足していない。
 同様の目的を持つ友人を得ることは満足が得られている。

- コンピュータ等の設備、興味ある科目、友人、キャンパスの綺麗さ、教員の質の項目を除き、期待よりも満足が小さい
 全体的に見て、第一志望以外の方が満足の程度が低い

まとめ(2)

- 分野や科目に関する事柄に満足し、経済的・物理的条件に満足し、第1志望校に進学しているほど、進路選択に関する満足は大きい
- 自分の設定した基準よりも劣る学校に進学したため? (実際には大学間の差はそれほど大きくはないはず) 第一志望校という選択肢を捨てざるをえなかったことから、 満足の判断基準そのものが変化していることが予想される
- 大学が進学者の期待に見合ったサービスを提供できていない?
- 入学後の現状の把握、他大学の情報などから、満足を規定する 基準が変化